

企画展

「企業の原点を探る」シリーズ

よろん

商人の輿論をつくる！

～ 渋沢栄一と東京商法会議所 ～

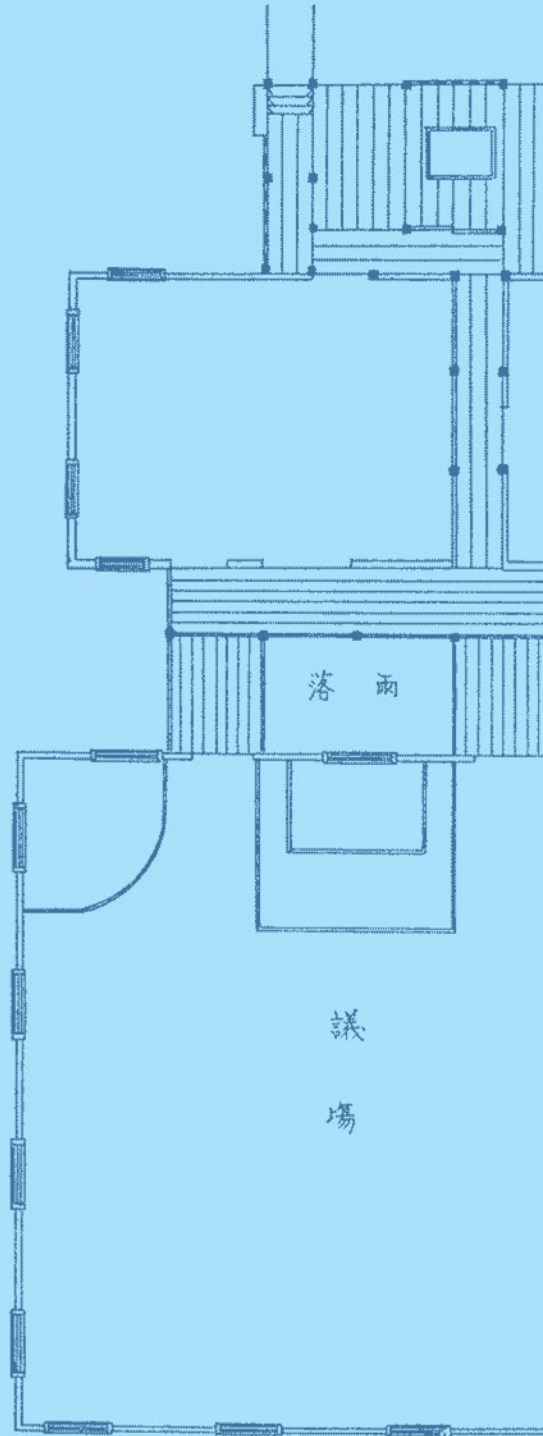
東京商法会議所要件録第二号

第六定式集會 明治十二年二月三日午後第八時前二十分開場

議員出席スル者 三十八名

同 欠席スル者 十七名

會頭 澁澤一高木領事ノ演説了ルノ後會頭席ニ就キ左ノ件
々々報告セリ前會ニ於テ決議セシ不參議員ノコトハ其紹介
人ヨリ之ニ尋問シテ其去就ヲ報告スベキ答ナリシニ付會



2014年10月4日(土)～11月30日(日)

- 開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日：10月6日・14日・20日・27日、11月4日・10日・17日・25日
- 入館料 一般 300円(240円) 小中高生 100円(80円)
- ※ ()内は20名以上の団体料金
- 渋沢史料館・晩香廬・青淵文庫がご覧いただけます。

飛鳥山3つの博物館 三館共通券

一般 720円 小中高生 240円

主催：渋沢史料館 後援：東京商工会議所

●10月4日(土)・5日(日)、11月9日(日)は入館無料です。



公益財団法人 渋沢栄一記念財団
渋沢史料館
Shibusawa Memorial Museum

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1

TEL: 03-3910-0005

<http://www.shibusawa.or.jp>

民間の経済団体として様々な活動をしている東京商工会議所。

その原点の1つは1878年に創立した東京商法会議所です。渋沢栄一は初代会頭に就任して中心的な役割を果たし、後継団体である東京商工会、東京商業会議所の会頭も務めるなど、「商人の輿論をつくる」べく、その代表として尽力しました。

本展では様々な関係資料を通じて、東京商法会議所の創立・活動と栄一との関わり、さらに今もなお受け継がれている栄一の想いを紹介します。そして現在の東京商工会議所へとつながる、その原点を探ります。



「商法会議所設立之儀願書」(1877年、東京商工会議所所蔵)

東京商法会議所の創立発起人である米倉一平、竹中邦香、渋沢喜作、大倉喜八郎、三野村利助、福地源一郎、益田孝、渋沢栄一が連名で東京府知事宛に提出した創立願書。



渡米実業団 西陣織の感謝状(1910年)

渡米実業団は帰国後、アメリカ各地の商業会議所等に感謝状を贈呈した。これは京都高島屋に製作を依頼した見本品。



「東京商工会 謝辞」(1891年)

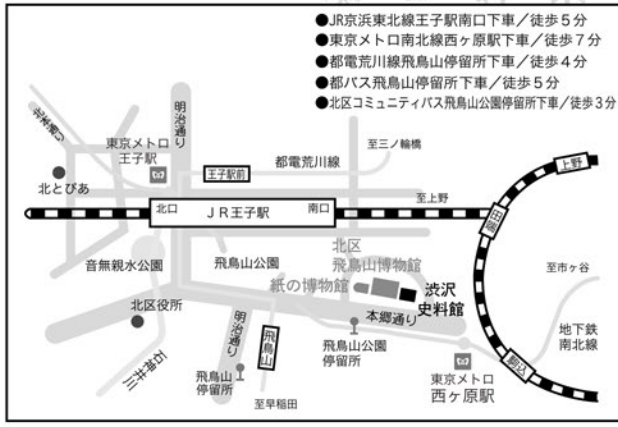
東京商工会から会頭の渋沢栄一へ贈られた。東京商法会議所創立から、東京商工会、そして東京商業会議所への改組に至る経緯や諸活動と、栄一の功勞に対する謝辞が綴られている。

●イベント情報

シンポジウム「東商の挑戦—渋沢栄一の精神を生かして」
 日時：2014年11月7日(金)19:00~21:00
 会場：東京商工会議所 東商ホール(東京都千代田区丸の内)
 定員：500名(事前申込・先着順)/参加費：無料
 パネリスト：五百旗頭薫氏(東京大学法学部教授)
 杉山伸也氏(慶応義塾大学名誉教授)
 三村明夫氏(東京商工会議所会頭)
 司会：宮本又郎氏(大阪企業家ミュージアム館長)
 ※内容等の詳細は当財団ホームページをご覧ください。

次のA、Bいずれかの方法でお申込み下さい。
 A)当財団ホームページの専用フォームよりお申込み下さい。
 B)往復はがきに、①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな)④電話番号をご記入の上、「11月7日イベント係」まで。1枚につき、2名まで申込み可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記のこと。

申込方法



専用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1
渋沢史料館 電話：03(3910)0005
 Shibusawa Memorial Museum <http://www.shibusawa.or.jp>

次回の展示 企画展「渋沢栄一と東洋紡」(仮)
 会期：2015年3月14日(土)~5月31日(日)

飛鳥山 ③ ④ ⑤ 博物館 <http://www.asukayama.jp>
 紙の博物館 2014年9月13日(土)~2015年3月1日(日)
 北区飛鳥山博物館 2014年10月28日(火)~12月14日(日)

企画展「紙で旅するニッポン ~関東・甲信編~」 Tel.03-3916-2320
 秋期企画展「名所物語 浮世絵にみる北区の近代」 Tel.03-3916-1133